

PTW

ポールトゥウィンホールディングス株式会社

第15期

株主通信

2023年2月1日～2024年1月31日

株主の皆様へ



2024年1月期は過去最高売上を達成したものの、各利益は大幅な減少となりました。2025年1月期は、引き続きの増収と収益性の改善に取り組み、増益を目指します。

2024年4月

代表取締役社長

橘 鉄平

2024年1月期は子会社の不正や、度重なる業績の下方修正があり、株主の皆様にご心配おかけしましたことをお詫び申し上げます。

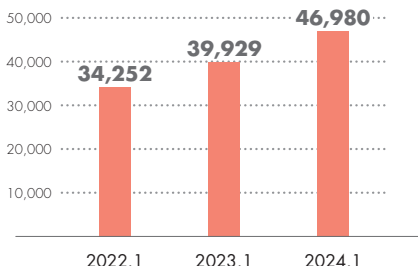
決算概況につきましては、売上高は3期連続の2桁成長を達成し、過去最高の売上高となりました。一方で営業利益に関しては、2022年2月に実施した国内ソリューション主要事業会社3社（ポルトゥウィン(株)、ピットフルー(株)、(株)クアーズ）合併後の拠点統合費用や、海外ソリューションにおける新規プロダクトビジネスに関する費用が発生し、大幅減益となりました。

2025年1月期は売上の着実な拡大に取り組むとともに、海外ソリューションやメディア・コンテンツにおいて事業の「選択と集中」を行うことで収益性の改善を図り、公表済みの業績予想（売上高520億円、営業利益22億円）の達成に向けて取り組んでまいります。

連結決算ハイライト

売上高

単位：百万円

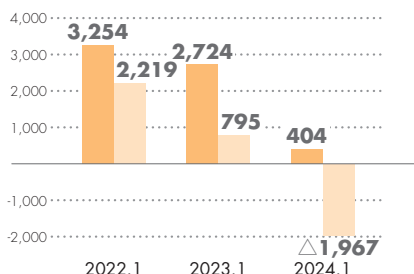


営業利益／親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円

■ 営業利益

■ 親会社株主に帰属する当期純利益



トップインタビュー

2025年1月期の営業利益予想22億円と、2024年1月期の4億円に対して大幅な回復を見込んでいますが、詳しくお聞かせください。

2024年1月期は、国内では採用費や拠点統合費用、そして海外では新規事業費用の増加が利益を大きく押し下げる要因となりました。2025年1月期にこれらの費用が全く発生しないわけではありませんが、採用費に関しては採用体制の強化を推進し、採用ブランディングによる自然応募の増加やリファラル採用を拡大して、費用対効果を高めます。拠点統合は2024年1月期でピークが過ぎ、海外の新規事業については「選択と集中」を行うことで、大幅な費用減少を見込んでいます。また、メディア・コンテンツでは不採算事業の整理の目途が立っており、当期に比べて大幅な収益改善を見込んでいます。

ただし、上期は海外ソリューションでの不採算拠点閉鎖や人員調整費用、メディア・コンテンツではゲーム共同開発の追加費用負担を見込んでいて、本格的な収益性改善は下期からとなる計画です。

経営方針や株主還元を含む資本政策を作成した理由をお聞かせください。

当社は、2024年3月12日に公表した「2024年1月期決算補足資料」の中で企業価値向上に向けた経営方針や株主還元を含む資本政策を公表しました。当社グループは、継続的な事業成長のためには、人や組織、DX、M&A、事業提携等への多面的な投資が必要と考えています。これまでこのような当社グループの考えの体系的な公表が不足していたことから改めて整理し、株主並びに投資家の皆様にお示しすることにしました。

また、資本政策は、2029年1月期のROE(自己資本利益率)目標を15%以上と定め、株主還元はDOE(純資産配当率)3%を下限、総還元性向30%以上としました。これは株主・投資家の皆様との対話を重ね、当社取締役会内で議論して決定したものです。株主・投資家の皆様には、当社グループの事業は勿論、経営方針や還元方針も含めて、当社の株式購入や継続保有する判断材料にさせていただけると嬉しく思います。

新たに女性2名が取締役に就任していますが、取締役会の多様性に関する考えをお聞かせください。

当社は第15回定時株主総会を経て、取締役及び監査等委員である取締役は、男性10名、女性3名の計13名になりました。また、13名のうち社外取締役は6名です。結果として女性比率は23.7%、社外取締役比率は46.2%となりました。取締役への選任はその方のスキルや経験の他、女性比率、社外取締役比率、出身業界など常に意識しているところです。

ここ数年「多様性」という言葉をよく聞くようになりましたが、我々としては実は昔から「DE&I(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)」として取り組んできました。例えば、現在海外ソリューションをけん引している当社取締役のデボラ・カーカムは、当社グループが2012年8月にM&Aを実施した「e4e, Inc」でプレジデントを務めていました。経験豊富なカーカムに海外事業の経営を委ねたことにより、カーカム

は強いリーダーシップを発揮して、当社グループの海外事業の基盤を確立してくれました。この実績を受けて、我々の今後の成長のためにカーカムの意見をグループとして活用すべきであると考え、2019年4月に同氏を当社初の女性取締役であるとともに、当社初の外国人取締役として迎えました。

2029年1月期、売上高1000億円達成に向けた具体的施策について教えてください。

近年、当社はサービスセグメントを従来の「デバッグ・検証事業」と「ネットサポート事業」から「サービス・ライフサイクルソリューション事業」の単一セグメントに改めました。人とテクノロジーを融合してお客様の課題を解決することを使命とし、2029年1月期は売上高目標1000億円を掲げています。この目標に辿り着くためには、業務やサービスの種類・規模の拡大、M&Aや業務提携の加速、それだけの売上を創出するグループ会社を率いるためのガバナンス体制の整備が重要になります。そして、これらを検討するには、当社グループとは異なるバックグラウンドや企業での経験を持つ方々と議論を行うことが効果的であると考えています。

我々は、企業としての「DE&I」とは持続的成長のために必要不可欠なものと考えています。2025年1月期は新任取締役3名を迎え、新たな視点を取り入れ計13名の取締役(うち、監査等委員である取締役は4名)で経営してまいりますので、どうぞご期待ください。

最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

2024年1月に当社グループのルーツである子会社のポルトゥウィン株式会社がおかげ様で創立30周年を迎えることができました。また、当社は3月にサステナビリティ委員会を設置し、事業活動を通じてESG経営を実現してまいります。今後も企業価値の持続的向上を図り、中長期においてさらなる飛躍を目指してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

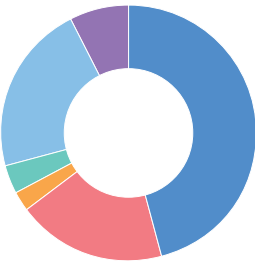
会社情報 (2024年1月31日現在)

会社名	ポールトゥウィンホールディングス株式会社
本社	東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14F
設立	2009年2月2日
代表者	代表取締役会長 橘 民義 代表取締役社長 橘 鉄平
資本金	1,239,064,600円
グループ会社数	連結子会社48社(国内外)
従業員数	連結従業員数:8,652人(内正社員数 3,292人)

株式の情報

発行済株式の総数	38,156,000株(2024年1月31日現在)
株主数	6,506名(2024年1月31日現在)

所有者別株式分布状況



個人・その他	46.11%
金融機関	18.88%
金融商品取引業者	2.44%
その他国内法人	3.52%
外国法人など	21.72%
自己株式	7.33%

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	定時株主総会 1月31日 期末配当 1月31日 中間配当 7月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない時は東京都において発行される日本経済新聞に掲載いたします。 ※電子公告アドレス https://www.ir.phd.inc/koukoku.html

PTW

ポールトゥウィンホールディングス株式会社
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14F
<https://www.phd.inc/>



見やすく読みま
ちがえにくいユ
ニバーサルデザ
インフォントを
採用しています。